

研究方法各論 (質的研究法)

[講義] 1年・2年 前期 選択 30時間 2単位

《担当者名》○宮地普子 [miyajih@hoku-iryo-u.ac.jp]
花淵馨也 [hanab@hoku-iryo-u.ac.jp]

【概要】

研究方法各論 では、研究方法論の基礎的知識をふまえ、質的研究法の特徴と種類、フィールドワークとしてのデータ収集法およびデータ分析法に関して、講義とグループディスカッションを通して学ぶ。

【学修目標】

1. 代表的な質的研究法の理論的背景、データ収集と分析の特徴が説明できる。
2. 学習した方法論の特徴を捉え、研究の問いに応じた適用が説明できる。
3. 質的研究法におけるデータ収集および分析の基本的方法が説明できる。
4. 質的研究法の論文を批判的に読み、必要な視点が説明できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1) 2	質的研究法の特徴と種類 (1)	ガイダンス 主要な研究方法について調べ (事前課題)、それを基にグループに分かれてディスカッションし、疑問点や内容の理解度を明確にする。 エスノグラフィー、グラウンデッド・セオリー・アプローチ、ほか	宮地
3) 4	質的研究法の特徴と種類 (2)	文化人類学におけるフィールドワークについて講義を聴き、フィールドワークとは何かディスカッションにより理解を深める。	花淵
5) 6	質的研究法の特徴と種類 (3)	初回授業に引き続きグループに分かれ、さらに調べた内容についてディスカッションし、理解したことをまとめる。	宮地
7) 8	質的研究法の特徴と種類 (4)	各グループのディスカッションでまとめた内容をプレゼンテーションし、全体のディスカッションにより主要な研究方法論の理解を深める。	宮地
9) 10	質的研究法におけるデータ収集法と分析法 (講義)	質的研究法におけるデータ収集法 (インタビュー法・参加観察法)、データ分析法の基本を学ぶ。	宮地
11	参加観察法によるデータ収集とデータ分析のプロセス (演習)	グループに分かれ、観察データをもとにデータ収集のプロセスを体験する。ディスカッションにより、データの特徴やデータ収集時の留意点が説明できる。	宮地
12) 13	参加観察法によるデータ収集とデータ分析のプロセス (演習)	グループに分かれ、観察データをもとに分析のプロセスを体験する。ディスカッションにより、分析の視点や特徴、留意点が説明できる。	宮地
14) 15	質的研究論文のクリティーク	質的研究法の論文を選択し各自でクリティークする (事前課題)。グループに分かれ、各自で選択した論文についてプレゼンテーションとディスカッションを行い、質的研究のクリティークの視点が説明できる。	宮地

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部 (研究科)、学環、学校の授業実施方針による

【アクティブ・ラーニング】

導入している

【評価方法】

レポート(研究法の種類, クリティーク各25%), グループワークへの参加度(50%) から総合的に評価する.

【参考書】

ポーリットD.F. & ベックC.T. /近藤潤子監訳(2025)看護研究 原理と方法,第3版,医学書院.
ウヴェ・フリック/小田博志他訳(2011)質的研究入門 - 人間の科学のための方法論,春秋社.
ホロウエイ & ウイラー/野口美和子監訳(2006) ナースのための質的看護研究入門 研究方法から論文作成まで, 第2版,医学書院
バーンズ&グローブ/黒田裕子他監訳(2023)看護研究入門 - 実施・評価・活用,第9版,エルゼビア・ジャパン.
ジェイムズP.スブラッドリー/田中美恵子他訳(2010)参加観察法入門, 医学書院.
小田博志(2023) 改訂版エスノグラフィー入門 <現場>を質的研究する,春秋社.
戈木クレイグヒル滋子(2016) グラウンデッド・セオリー・アプローチ,改訂版,新曜社.
木下康仁(2020)定本 M-GTA :実践の理論化をめざす質的研究方法論,医学書院.
その他は随時提示する.

【備考】

課題の提示と提出はGoogle Classroomを使用する.

【学修の準備】

各授業テーマに関連する資料および関連図書を熟読して臨む(予習復習1時間).
授業前に提示する課題に取り組むために必要な図書・文献を入手して調べる(予習1時間).

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

< 看護学専攻 >

本科目の内容は、看護学における高度な専門性と研究能力を修得するという看護学専攻博士前期(修士)課程のディプロマ・ポリシーに適合している。

< 臨床福祉学専攻 >

本科目の内容は、臨床福祉学における高度な専門性と研究能力を修得するという臨床福祉学専攻博士前期(修士)課程のディプロマ・ポリシーに適合している。